



2012年度結果	評価	2013年度目標
●エコ・ファーストの約束を全て達成	○	●新たなエコ・ファーストの約束を締結
●エネルギー、廃棄物排出状況、レジ袋削減、排水水質管理、リサイクルなどの管理システムにより、目標管理を実施	○	●CO ₂ 排出を抑制するための実施計画と手順を構築
●建て替えたピアゴ蟹江店の設備に省エネ機器を導入し、効果を測定	○	●新店、改築店舗に有効な環境機器を導入し、その効果を測定
●環境配慮型PB 商品eco:lonの開発・販売を拡大 eco:lon開発数 8件、売上 5億579万円 (135.9%)	○	●環境配慮型PB 商品eco:lonの容器包装の環境設計を図る (イズミヤ、フジとも協働)
●低炭素型ライフスタイルをお客様と一緒に推進する「リサーチャーズクラブ」がモデル店舗 (アピタ千緑店) でトレイレス実験を実施	○	●環境配慮商品のバリューチェーンの環境負荷低減効果を見える化し、お客様に訴求
●前年比 25.7%増加	×	●CO ₂ を原単位で1%削減する
●全店で省エネ委員会を開催	△	●省エネ委員会で目標策定し、目標達成を図る
●電気使用量 96,8870千kwh (98.6%) △1.4%	○	●使用エネルギーを1%削減
●ガス使用量 22,065千m ³ (95.7%) △4.3%	○	●物流の合理化による環境負荷低減を図る
●石油使用量 8,325千ℓ (94.7%) △5.3%	○	●段ボール 2%削減
●輸送距離・量・エネルギー使用量いずれも増加。ただし、原単位は前年比99%	○	●PB商品の容器包装を見直し、バイオマスプラスチック製容器包装の導入拡大
●前年比 5.4%削減	○	●包装資材を3%削減
●バイオマスプラスチック製容器の店頭回収・再生製品を作製	○	●関東地区での有料化店舗を拡大
●レジ袋 839t (98.6%) △1.4%	○	●レジ袋辞退率 76%、未有料化店舗の辞退率を向上
●包装紙 149t (86.6%) △13.4%	○	●廃棄物排出総量 前年比 3%削減
●紙袋 175t (86.6%) △13.4%	○	●リサイクルループに周辺店舗を組み入れ、規模の拡大を図る
●食品取り扱い217店舗中173店舗で実施 (79.7%)	△	●リサイクルループ参加店舗 140店舗
●レジ袋配布店舗 24.3%、有料化店舗 87.8%、全社換算…75.0%	○	●リサイクル率 60.0%
●廃棄物総排出量 4.2%削減	○	●発生抑制 △25.0%
●廃棄物処理場・リサイクル現場を確認	○	●再生利用等実施率 67%
●営業店舗所在地1府18県でリサイクルループを構築 (福島県を除く)	△	●リサイクルボックスの回収品目を増やす
●リサイクルループ参加店舗 133店舗	△	●全店4品目を回収
●リサイクル率 57.0%	×	●一部店舗で透明プラ容器を回収しリサイクルを実施
●発生抑制 △20.5%	○	●全店舗から回収
●再生利用等実施率 65.0%	○	●リサイクル製品品種拡大
●牛乳パック 575,332kg (96.1%)	○	●店頭回収を拡大
●トレイ 291,151kg (95.6%)	○	●環境学習DVD作成
●アルミ缶 555,663kg (104.0%)	○	●チラシ・POPなどで環境配慮商品を紹介し、拡販
●ペットボトル 1,865,920kg (106.0%)	○	●新しいポスターを作成し、さらに情報提供を推進
●リサイクルボックス回収実績 2.8%向上	○	●未実施店で開催
●全店舗から回収	○	●グリーンアップキャンペーン全店で年2回実施
●リサイクル製品 (定規) 作製	○	●新店・テナントの廃棄物分別教育を実施
●店頭回収35店舗で実施	○	●子ども環境学習全店実施、農業体験6回実施
●環境学習テキストを発行	○	●エコ博10回実施
●eco:lonなどの情報を開示	○	●環境関連事業者連絡会セミナーを開催
●環境掲示板の設置を標準化	○	●全店舗での排水水質監視を実施 (清掃点検表の完全実施)
●エコ博、環境展を開催 10店舗	○	●低濃度PCBの適正管理実施
●全店実施 (全国表彰される)	○	
●テナントの廃棄物分別教育を実施	○	
●子ども環境学習全店実施、農業体験6回実施	○	
●エコ博を6店舗で8回開催	○	
●メッセナゴヤ、EPOCに参加	○	
●講演会、リサイクル施設見学会 2回実施	○	
●水質検査の実施と排水管理マニュアルの徹底	△	
●適正管理の実施	△	

